

リサイクル推進計画進捗状況一覧表

資料3

(1) 重点的取り組み項目

●項目1 広報・PR活動の充実

柱	I 発生抑制の推進			
方針	1 環境教育の推進と普及啓発			
	(2) 普及啓発事業の推進			
	① 広報・PR活動の充実			
目標	区民1人1日あたりのごみ量が目標年次に目標値を達成している。			
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
5つの個別施策の実績を踏まえ、区民1人1日あたりのごみ量の減量度合い、可燃ごみ中の資源化可能物の混入率度合いにより評価する。	1)ねりま区報、区ホームページで清掃・リサイクルなどの啓発事業を実施する。	ねりま区報、区ホームページにリサイクルマーケットやリサイクルセンターの区民向け講座の開催案内を掲載した。 また、25年度は、練馬区公式ツイッターにて、情報を発信した。		
	2)外国人向け啓発パンフレットを充実する。	簡易版「資源・ごみの分け方と出し方」(英語・中国語・ハングル・タガログ語)を戸籍住民課等で配布した。 また、25年度は、必要な言語の作成について検討を行った。		
	3)町会・自治会などと連携した啓発活動を実施する。	練馬区環境清掃推進連絡会と協働で、地域の環境・清掃・リサイクルに関する事業を実施した。 【主な活動内容】 ・区内一斉清掃 ・施設見学会 ・ポイ捨て・歩行喫煙防止キャンペーン協力 ・研修会		
	4)照姫まつり、地区祭などの各種イベントで啓発事業を実施する。	照姫まつり、消費生活展、その他地区祭等に参加し啓発活動を行った。 環境月間行事(6月)では、区内3か所のリサイクルセンターと区役所アトリウムを会場として、環境に関するパネル展示、体験講座(リサイクルセンターのみ)を行った。 また、24年度は、アンケート回答者にLED電球を無料配布した。環境学習のDVD上映や体験学習を実施した。		
	5)地域単位の青空集会の実施を、ごみの分別の悪い集積所を対象として充実する。	25年度 ねりま・エコスタイルフェア ・開催日：平成25年10月20日(日) ・会場：区立南町小学校	24年度 ねりま・エコスタイルフェア ・開催日：平成24年10月21日(日) ・会場：区立南町小学校 ・来場者：約16,000名	23年度 ねりま・エコスタイルフェア ・開催日：平成23年10月16日(日) ・会場：区立南町小学校 ・来場者：約15,000名
	青空集会を実施した。	25年度 ・実施回数：25回 ・参加人数：642名	24年度 ・実施回数：29回 ・参加人数：695名	23年度 ・実施回数：4回 ・参加人数：182名
進捗評価	○	○	○	
	区民1人1日あたりのごみ量は、前年度より8g減少した。 また、可燃ごみ中の資源化可能物の混入割合は、前年度より0.5ポイント分別状況が改善された。	区民1人1日あたりのごみ量は、前年度より14g減少した。 また、可燃ごみ中の資源化可能物の混入割合は、前年度より0.4%分別状況が改善された。	区民1人1日あたりのごみ量は、平成22年度の546gから平成23年度は542gへと減量しており、「練馬区第3次一般廃棄物処理基本計画」における平成23年度の目標値542gを達成した。 また、可燃ごみ中の資源化可能物の混入割合は、平成22年度の20.8%から平成23年度は20.1%となり分別状況が改善された。	

●項目2 リサイクルセンター等地域拠点の充実

柱	I 発生抑制の推進			
方針	1 環境教育の推進と普及啓発			
	(2) 普及啓発事業の推進 ② リサイクルセンター等地域拠点の充実			
目標	4か所目となるリサイクルセンターを設置し、練馬区資源循環センターと連携した事業などを展開する。また、4館の運営方針などにより円滑な事業運営がなされている。			
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
4か所目の施設の整備に関する進捗状況や運営方針などの策定状況を踏まえ評価する。	1)練馬区長期計画(H22～H26)で位置づけている4か所目となるリサイクルセンターの設置を具体的に明らかにし、4館のネットワークを構築するとともに、練馬区資源循環センターとも連携しながらごみの発生抑制やリサイクルのしくみづくりの場となる施設整備をする。	25年度 4館目の整備にあたり、「関越高架下活用施設建設懇談会」を設置し、住民・施設利用者等の意見をふまえて、施設整備内容を検討し基本設計に反映させた。 今後は、道路占用許可申請と並行し、実施設計を平成26、27年度にかけて行い、28年度に整備し、29年度に開館する予定。	24年度 4館目のリサイクルセンターの候補地である関越高架下の活用については、道路管理者（NEXCO東日本）が、「関越高架下利用計画」を策定し、区は、「関越自動車道高架下施設整備基本方針」を策定した。  住民・施設利用者等の意見を伺いながら施設整備内容等を検討するため、「関越高架下活用施設建設懇談会」を平成25年度に設置することとした。	23年度 4館目のリサイクルセンター候補地である関越高架下の活用計画に関する協議は、所管課（企画課）と道路管理者（NEXCO東日本）において継続中であり、基本設計への着手は、平成24年度以降となった。また、庁内においては、関越高架下関係会議を6回開催し、整備に向けて協議を行った。
		○	○	○
進捗評価		基本設計を策定し、整備に向け確実に進捗している。	施設整備に向けた協議を重ねた。	施設整備に向けた協議を重ねた

(2) 継続する取り組み項目

柱Ⅰ 発生抑制の推進

●廃棄物に関する環境教育・環境学習等の推進

方針		1 環境教育の推進と普及啓発		
方針		(1) 環境教育等の推進		
方針		① 廃棄物に関する環境教育・環境学習等の推進		
評価方法	取組内容	進捗状況(25～23年度)		
実施した学校などの数や児童・園児の感想などにより評価を行う。	1) 区立小学校、区立幼稚園、区立保育園での分別体験や3R学習を実施する。	25年度	24年度	23年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 65校 (児童数5,508人)</li> <li>・幼稚園 3校 (園児数 202人)</li> <li>・保育園 52園 (園児数2,949人)</li> <li>・その他 15回 (人数 1,788人)</li> </ul> ※私立保育園、高等学校など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 65校 (児童数5,541人)</li> <li>・保育園 49園 (園児数2,811人)</li> <li>・幼稚園 1園 (園児数 127人)</li> <li>・その他 10回 (人数 1,413人)</li> </ul> ※私立幼稚園、私立保育園、高等学校およびインターナショナルスクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 : 65校 (5,724名)</li> <li>・保育園 : 54園 (3,812名)</li> <li>・幼稚園 : 3園 (349名)</li> <li>・区立以外 (私立幼稚園、私立保育園および高等学校) : 5校 (549名)</li> </ul>
進捗評価		○	○	○
進捗評価		アンケートの内容を反映させ、より分かりやすい環境学習を目指した。	アンケートの内容を反映させ、より分かりやすい環境学習を目指した。	アンケート・感想文などの内容を反映させ、より分かりやすい環境学習を目指した。
評価方法	取組内容	進捗状況(25～23年度)		
環境教育の実施状況などにより評価を行う。	2) 区立小中学校等における廃棄物に関する環境教育の充実を図る。	25年度	24年度	23年度
		区立小中学校および幼稚園では、学校・幼稚園版環境マネジメントシステムの取り組みを活用し、環境教育の推進を図った。  区立保育園では、各園で毎月省エネの目標を設定したり、リサイクル当番を決めてごみの分別活動を行うなど各園独自の環境教育を工夫して推進している。	区立保育園では、保育室、廊下等に複数のごみ箱を設置する分別活動といった各園独自の環境教育を推進している。また、小中学校では学校生活において排出指導や食育をととして環境教育を推進している。	区立保育園では、保育室、廊下等に複数のごみ箱やペットボトルキャップの回収箱を設置し保育園児によるごみの分別活動等各園独自の環境教育を推進している。
進捗評価		○	○	○
進捗評価		継続して実施した。	継続して実施した。	取組内容を継続して実施した。

評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
クラブ活動への支援実績や作文コンクール事業実施の有無により評価する。	3) 環境クラブ活動の支援や環境作文コンクール事業を実施する。	こどもエコクラブの地域事務局として、環境クラブ活動を支援した。		
		25年度 ・ 3クラブ 会員111名	24年度 ・ 5クラブ 会員123名	23年度 ・ 24クラブ：441名
小・中学生を対象に環境作文コンクールを実施した。				
		25年度 ・小学生：430作品 ・中学生：691作品 ・入賞：16名 ・環境作文集：1,500部発行	24年度 ・小学生：714作品 ・中学生：798作品 ・入賞：16名 ・環境作文集：1,300部発行	23年度 ・小学生：371作品 ・中学生：949作品 ・入賞：15名 ・環境作文集：1,300部発行
進捗評価		○	○	○
		継続して実施した。	継続して実施した。	取組内容を継続して実施した。
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
区民・事業者向け講座の実績により評価する。	4) 練馬区資源循環センターとリサイクルセンターにおいて、区民・事業者向けの環境学習事業を実施する。	25年度		
		<b>【資源循環センター】</b> 「もの」を大切に、廃棄物の発生抑制や再利用につながるリサイクルや清掃・環境についての講習会等を実施した。 ・講習会等：126回 ・参加人数：626人 <b>【リサイクルセンター】</b> 環境・リサイクル学習講座やリサイクル手作り教室などの講座を実施した。 ・講座数：530講座 ・参加人数：8,898人	24年度 <b>【資源循環センター】</b> 「もの」を大切に、廃棄物の発生抑制や再利用につながるリサイクルや清掃・環境についての講習会等を実施した。 ・講習会等：58回 ・参加人数：446人 <b>【リサイクルセンター】</b> 環境・リサイクル学習講座やリサイクル手作り教室などの講座を実施した。 ・講座数：627講座 ・参加人数：15,206人	23年度 <b>【資源循環センター】</b> 家具の修理講習会や清掃・環境についての講習会を実施した。 ・講習会：2回 ・講習会参加者：31名 ・見学会：75回 ・見学会参加者：500名 <b>【リサイクルセンター】</b> 環境・リサイクル講座やリサイクル手作り教室などの講座を実施した。 ・講座数：580講座(延705回) ・参加者：14,024名
進捗評価		○	○	○
		継続して実施した。	継続して実施した。	講習会などの実施回数や参加者数が増加した。

●家庭での生ごみの発生抑制・資源化の取り組み

方針	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(1) 家庭での発生抑制			
	① 家庭での生ごみの発生抑制・資源化の取り組み			
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
助成実績や推計減量により評価する。	1) 家庭での生ごみ減量のために、生ごみ処理機等への購入費助成事業を実施する。	家庭用生ごみ処理機等への購入費助成事業を実施した。		
		25年度	24年度	23年度
		<b>【購入費助成件数】</b> 家庭用生ごみ処理機：58件 コンポスト化容器：22件 計 80件  <b>【あっせん件数】</b> 生ごみコンポスト化容器：10件	<b>【購入費助成件数・金額】</b> 家庭用生ごみ処理機：56件 コンポスト化容器：25件  <b>【あっせん件数】</b> 生ごみコンポスト化容器：26件	<b>【購入費助成件数】</b> ・家庭用生ごみ処理機：76件 ・コンポスト化容器：45件  <b>【あっせん件数】</b> ・生ごみコンポスト化容器：49件
進捗評価	△	△	△	
	助成件数は横ばいだったが、あっせん件数が減少した。	助成実績が前年度より伸びなかった。	助成実績が前年度より伸びなかった。	

●エコパートナーシップ制度への参加

方針	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(2) 事業所での発生抑制			
	① エコパートナーシップ制度への参加			
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
協定に基づく取り組み実績により評価する。	1) 環境配慮や容器包装の減量に取り組む事業者との協定締結のシステムづくりを行う。	25年度	24年度	23年度
		—	区内商店街を対象として検討を行ったが、事業者は、すでに事業者責任において自主的にごみの発生抑制に取り組んでいるため、協定を結ぶ必要がないという結論に至った。	スーパーなどの大型小売店では、すでにISO 14001（環境マネジメントシステム）に基づき、環境配慮型商品の販売や環境省に環境報告書を提出していることから、区との協定締結は事業が重複するため難しいとされた。今後は、商店会等が参加しやすいシステムについて検討していくこととした。
		進捗評価	—	—
	—	事業の必要性を精査しとりやめた。	制度の検討を進めたが、協定を締結するまでには至らなかった。	

●練馬区環境管理実行計画に基づくごみの発生抑制

方針	2 ごみの発生抑制を優先する活動			
	(3) 庁舎等区立施設での発生抑制			
	① 練馬区環境管理実行計画に基づくごみの発生抑制			
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
ごみの排出量などにより評価する。	1)練馬区環境管理実行計画に基づくごみの発生抑制を実施する。	イベント時に、使い捨て容器の自粛やごみの持ち帰りを呼びかけたり、古紙やびん・缶などのリサイクルを行うなど、区立施設から排出されるごみの発生抑制に取り組んでいる。		
		25年度 ・廃棄物排出量：2,606t	24年度 ・廃棄物排出量：2,584t	23年度 ・廃棄物排出量：2,078t
進捗評価		○	△	△
		排出量は、横ばいだった。	排出量は、前年度より若干、増加した。	排出量は、前年度より若干、増加した。

●再使用・再利用の促進

方針		3 再使用の促進と再生品利用の推進		
		(1) 再使用・再生品利用の促進		
		① 再使用・再利用の促進		
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
粗大ごみからの再利用品数等により評価する。	1)粗大ごみから再使用・再利用できる物を区民に提供する。	練馬区資源循環センターで粗大ごみから選別した家具について、リサイクルセンターで展示・販売を実施した。		
		25年度 ・展示：6,338点 ・販売：6,290点	24年度 ・展示：5,763点 ・販売：5,800点	23年度 ・展示：4,888点 ・販売：4,624点 ・無償提供：280点(被災者対応)
進捗評価		○	○	○
		再利用品数は増加した。	再利用品数は増加した。	再利用品数は増加した。
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
掲示件数、成立件数などにより評価する。	2)大型生活用品リサイクル情報掲示板の活用を図る。	区立施設15か所にある大型生活用品リサイクル情報掲示板を活用し、再利用を促進した。		区立施設14か所にある大型生活用品リサイクル情報掲示板を活用し、再利用を促進した。
		25年度 ・譲ります：406件(成立件数186件) ・譲ってください：62件(成立件数5件)	24年度 ・譲ります：399件(成立件数208件) ・譲ってください：79件(成立件数9件)	23年度 ・譲ります：556件(成立308件) ・譲ってください：107件(成立9件)
進捗評価		△	△	○
		掲示件数および成立件数ともに減少した。	掲示件数および成立件数ともに減少した。	掲示件数および成立件数ともに増加した。
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
主催者の育成や事業実施回数などにより評価する。	3)リサイクルマーケット事業へ支援を行う。	区民が主催するリサイクルマーケットに対し、公園使用許可・活動用品貸与・ねりま区報への掲載等の支援を行った。		
		25年度 ・登録団体：48団体 ・支援回数：96回 ・リサイクルマーケット主催者養成講座：1回(参加者16人)	24年度 ・登録団体：54団体 ・支援回数：115回	23年度 ・登録団体：51団体 ・支援回数：132回 リサイクルマーケット主催者養成講座を実施した。(隔年実施) ・参加者：12名
進捗評価		△	△	△
		養成講座を実施したが、登録団体数および支援回数ともに減少した。	継続して実施した。	支援回数が減少した。

●再生品の利用促進

方針	3 再使用の促進と再生品利用の推進			
	(1) 再使用・再生品利用の促進			
	② 再生品の利用促進			
評価方法	取組内容	進捗状況 (25～23年度)		
再生品の展示などにより評価する。	1)再生品の展示等、情報提供を実施する。	25年度・24年度 リサイクルセンターにおいて再生品（古布を利用した布ぞうり・リバーシブル帽子・ショッピングバッグなど）の展示を行うと同時に、リサイクルの促進のため、毎月発行の各リサイクルセンターの情報紙で情報提供を行った。	23年度 リサイクルセンターにおいて再生品（古布で作った布ぞうり、リバーシブル帽子など）の展示を行い、ゆずりはなどの情報紙に掲載した。	
進捗評価		○	○	○
		再生品の展示は継続的に実施した。	再生品の展示は継続的に実施した。	再生品の展示は継続的に実施した。